

令和6年度 第46回大麻旗争奪高校生剣道大会 試合要領

- (1) 全日本剣道連盟試合・審判規則・同細則、全国高体連剣道専門部申し合わせ事項に則って行う。
- (2) 男女ともに予選リーグを実施し、4校リーグにおいては上位2校、3校リーグにおいては上位2校がトーナメントに進出する。
- (3) 試合時間は4分。試合時間内に勝敗が決しない場合は、引き分けとする。ただし、代表者戦において、試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行い、先に1本取ったものを勝ちとする。
延長戦の試合時間は、4分とする。延長戦が継続する場合は、延長戦2回ごとに「休息」・「休憩」を交互に繰り返す。
 - ア 勝敗の決するまで延長戦を継続する場合、延長戦2回ごとに「休息」と「休憩」を交互に繰り返すが、主審は試合者の疲労度等を観察し、さらに休息等の措置が必要と判断したら、「止め」を宣告し深呼吸等の措置をとることができるものとする。
「休息」・・・立礼の位置まで下がらせて深呼吸させる。試合再開までは1分程度を目途とする。
「休憩」・・・選手を選手席に戻し、面を外させて給水させる。試合再開まで4分程度を目途とする。審判員も一度審判席に戻る。
 - イ 予選リーグにおける引分けの際は、その都度勝負を決定せずにリーグ終了後下記の順で勝敗を決め、また代表戦を行う。
 - (ア) チームの勝ち点による。(勝ち3点、分け1点、負け0点)
 - (イ) 勝者数による
 - (ウ) 総本数による
 - (エ) 上記(ア)から(ウ)までで順位が決定しない場合は、代表者戦によるリーグ順位決定戦を以下の要領で行いリーグの1位・2位を決定する。
 - A 代表者戦の対戦順は予選リーグ時の対戦順とする。ただし、1位・2位チームが決定した後の試合は行わないものとする。
 - B 代表選手は選手の安全面等に配慮し、代表者戦ごとに変更することを可とする。
 - C 礼法については、代表者戦1巡目のみ当該の試合に出場した5人を整列させて行い、2巡目に入った場合は代表選手のための礼とする。
 - D 審判はリーグ戦時における当該の審判員が行う。
 - ウ 代表者戦の選手は、当該の試合に出場した先鋒から大将までの5人の選手から選出する。ただし、補欠と交代した選手の再出場は認めない。代表者戦は一本勝負とする。